

# 「国際電気通信連合世界電気通信標準化総会 への対処について」概要

(平成5年4月26日付 電気通信技術審議会諮問第2号)

# ITU部会の審議事項

## 「国際電気通信連合電気通信標準化部門 (ITU-T) の活動への 対処について」 (平成5年4月26日付 電気通信技術審議会諮問第2号)

国際電気通信連合電気通信標準化部門 (ITU-T) の活動への対処として

(1) 世界電気通信標準化総会 (WTSA: World Telecommunication Standardization Assembly) に提出される勧告案に対する評価

(2) ITU-T の 研究課題 の望ましい作業計画

について答申する。

SG3(電気通信の経済的及び政策的事項を含む料金と会計原則)は情報通信審議会の審議対象外

## WTSA-16の概要

ITUでネットワーク分野の標準化を行う電気通信標準化部門 (ITU-T) の総会であり、4年に1回開催。

- 開催日、場所: 2016年10月25日(火)～11月3日(木)、ヤスミン・ハマメット(チュニジア)
- 参加資格: 主管庁(193加盟国)及び電気通信標準化部門セクターメンバ(計218メンバ)
- 主な議題:
  1. 研究委員会(SG)から提出された勧告案の承認
  2. 次会期における研究体制の決定(SG構成の見直し)
  3. 各SG議長・副議長の任命
  4. 次会期の研究課題の承認
  5. 作業方法の見直し

# 主な論点及び対処①

## I. 勧告案に対する評価

- ・ ITU-Tの作業・組織に関する勧告(Aシリーズ勧告)について、電気通信標準化アドバイザーグループ(TSAG)から1件の改定勧告案(下表)が提出。

勧告番号	勧告名	概要	評価
A.1	ITU-TのSGの作業方法	複数のSGの領域で協調するためのJCA(Joint Coordination Activities)が設置できるとされているGSI(Global Standardization Initiative)について、現行唯一のGSIであるIPTV-GSIが終了予定であることを考慮し、GSIに関連する記述を削除。	支持

WTSAにおいて審議される上記勧告案は、活動の完了を反映するものであり、「支持」することが適當。

# 主な論点及び対処②

## II. 次研究会期における研究課題

新研究課題6件※<sup>1</sup>、継続研究課題99件※<sup>2</sup>、既存の研究課題の統合等による研究課題改訂28件の合計133件が次期研究会期(2017～2020年)の研究課題として提案。

※<sup>1</sup> SG3の1件を含む

※<sup>2</sup> SG3の10件を含む

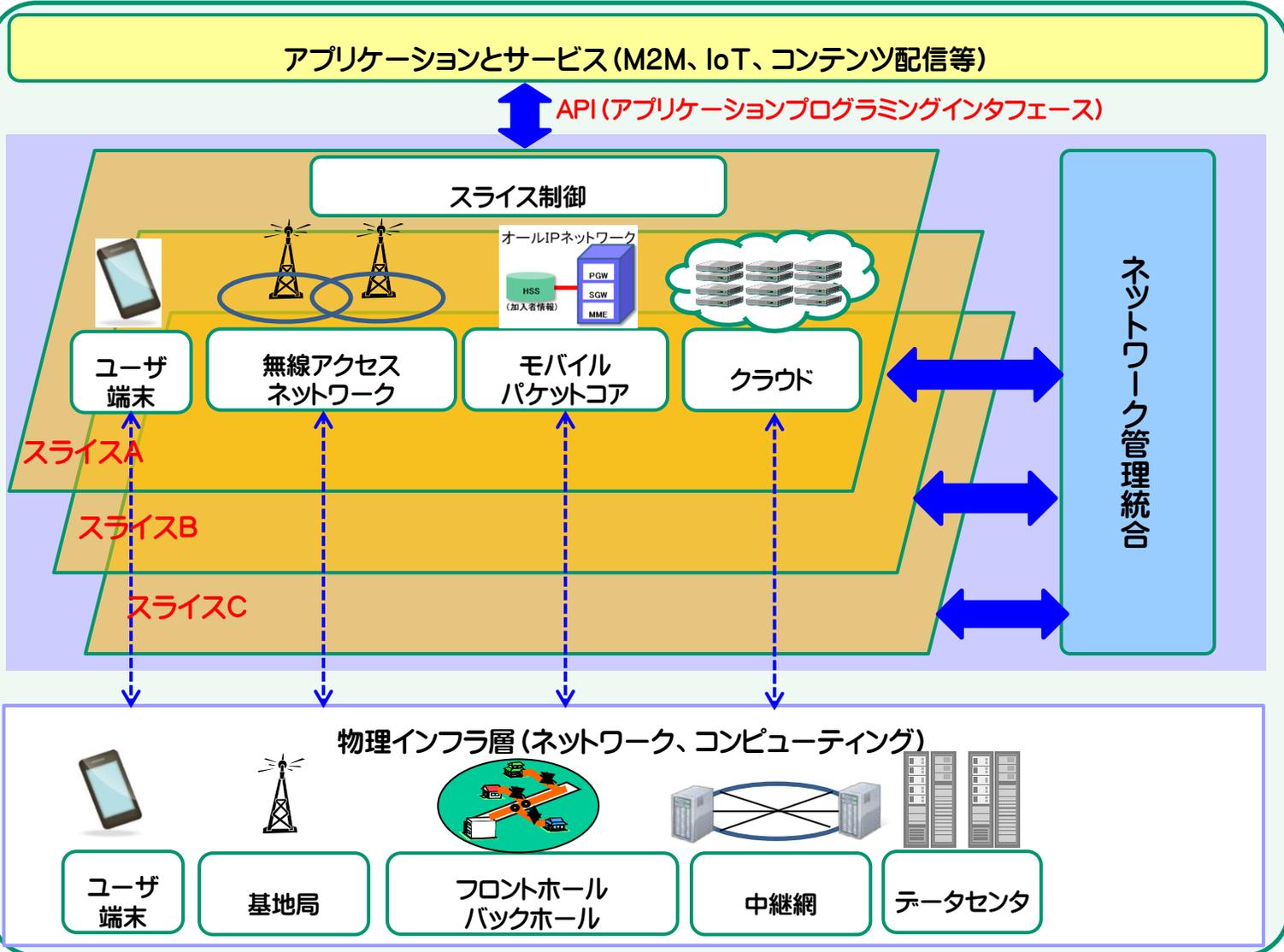
### ・主な研究課題案の例

- SG2 電気通信サービスへのナンバリング、ネーミング、アドレッシング、識別子計画の適用
- SG5 ICTセクターにおけるエネルギー効率と持続可能なクリーンエネルギーの達成
- SG9 UHDTVマルチキャスト対応伝送方式
- SG11 新たな電気通信環境におけるサービスとアプリケーションの信号要求条件及びプロトコル
- SG12 マルチメディアQoS/QoE性能の要求条件と評価法
- SG13 IMT-2020のネットワークの要求条件とアーキテクチャ
- SG15 IMT-2020をサポートするモバイルフロントホール/バックホール等の光伝送技術
- SG16 IPTVによる医療・教育等のサービス配信のプラットフォームと端末システム
- SG17 ホームネットワーク、モバイルネットワーク等のネットワークセキュリティ
- SG20 IoTアプリケーション要求条件、参照モデル

各SGで研究する次研究会期の課題の内容については基本的に前研究会期の研究課題が継続されているため「支持」することが適当。

# (次会期の主な研究課題事例) IMT-2020のネットワーク

- ・ 要求条件、アーキテクチャ、ネットワークソフト化、プロトタイプ化、伝送技術等を検討
- ・ 2015年6月から活動しているフォーカスグループ (FG-IMT2020) でのITU-T勧告の範囲を特定するための検討 (既存標準の調査等) の結果をもとに、2017年より勧告策定作業を開始予定



**5Gに求められる要件**  
 (ITU-R 勧告 M.2083  
 「5G将来ビジョンに関する新勧告」)

- 有線に匹敵する**超高速性、超低遅延性**
- センサーネットワーク等における**多数機器の同時接続**

<主要性能>

- ✓ 最高伝送速度 10Gbps ※ (現行LTEの100倍)  
 ※一定の条件下では、最大20Gbps
- ✓ 100万台/km<sup>2</sup>の接続機器数 (現行LTEの100倍)
- ✓ 1ミリ秒程度の遅延 (現行LTEの1/10)
- ✓ 10Mbps/m<sup>2</sup>システム容量 (現行LTEの1,000倍)
- ✓ 低消費電力 (エネルギー効率)
- ✓ 周波数の有効利用

**↓**

これらを支えるネットワーク (非無線部分) が必要

# 主な論点及び対処③

## Ⅲ. 勧告案及び決議

WTSA-16に各地域グループ、メンバ等から提案が見込まれる主な勧告案・決議案の例

	文書番号	勧告・決議名	検討されている主な内容等
勧告案	A.1	ITU-Tの作業方法	新作業項目提案時に4か国以上のメンバ又はセクタメンバの支持を必須とする改定
決議案	22	TSAGのWTSA間の権限	レビュー委員会の成果を反映し、TSAGが標準化戦略の調整やITU-Tの活動のレビュー等を実施する改定
	82	他機関との連携及び将来の検討体制	(レビュー委員会の活動完了に伴う廃止)
	新	IMT-2020の標準化活動の推進	NWソフト化等の具体的検討課題、フロントホール/バックホール検討におけるITU-Rとの連携強化等、IMT-2020の検討を加速させる新決議案

作業方法に関する勧告案・決議案については、ITU-Tの活動がさらに効率的かつ効果的に実施できるように対処する。

作業内容に関する決議案については、次期研究会期の活動の推進を図るとともに、ITU-Tの所掌範囲に留意して対処する。

# 主な論点及び対処④

## IV. 研究委員会(SG)の体制

- ・ 前回WTSA-12会合において10SGを維持。今会期中にSG20を設置し、11SG体制に。
- ・ 我が国が属するAPT※<sup>1</sup>が現行11SGの維持を支持している一方、他5地域がSG9の廃止、CEPT※<sup>2</sup>がSG11の廃止をWTSA-16に提案する見通し。

※1: Asia-Pacific Telecommunity: アジア太平洋電気通信共同体

※2: European Conference of Post and Telecommunications Administrations: 欧州郵便通信主管庁会議

現状の11SG体制が維持されるよう対処する。

**SG2** (サービス提供の運用側面及び電気通信管理)

**SG3** (電気通信の経済的及び政策的事項を含む料金と会計原則)

**SG5** (環境と気候変動)

**SG9** (映像・音声伝送及び統合型広帯域ケーブル網)

**SG11** (信号要求、プロトコル及び試験仕様)

**SG12** (性能、サービス品質(QoS)及びユーザー体感品質(QoE))

**SG13** (移動及びNGNを含む将来網)

**SG15** (光伝送網及びアクセス網基盤)

**SG16** (マルチメディア符号化、システム及びアプリケーション)

**SG17** (セキュリティ)

**SG20** (IoTとそのアプリケーション、スマートシティ)

**電気通信標準化アドバイザーグループ  
(TSAG)** (作業の優先順位及び戦略計画等)